

研究課題別事後評価結果

1. 研究課題名：車載蓄電池を活用したモデル予測型エネルギー管理システムの設計
2. 研究代表者名及び主たる研究参加者名（研究機関名・職名は研究参加機関終了時点）：
研究代表者
鈴木 達也（名古屋大学大学院 工学研究科 教授）
主たる共同研究者
金森 淳一郎（株式会社デンソー 技術開発センター 室長）
3. 事後評価結果

○評点

A+ 期待を超える十分な成果が得られている

○総合評価コメント

電気自動車(EV: Electric Vehicle)の普及を前提にし、実データに基づいたエネルギー管理システム(EMS: Energy Management System)の設計・運用手法の開発に着手し、住宅エネルギー管理システム(HEMS: Home EMS)、ビルエネルギー管理システム(BEMS: Building EMS)中心のモデルを構築し、実データに基づくシミュレーションにより今後のEV普及時のエネルギー消費モデルを得て実証までを行った。理論と実測データの両面のバランスが良く活発に研究を行っており、EVの実験データから利用モデル、HEMS/BEMSとの連携まで考慮した総合的な評価の点で評価できる。特に、需要者がEVを使用しながらでもEMSに貢献できる様な車社会に対応した最適なモデルを構築したことは評価できる。また7件もの特許出願を行ったことも特筆される。更に研究代表者が中心となって国内外の多くの研究者との共同研究を推進して新たな展開を図っており、そのリーダーシップは優れていると評価できる。今後は、各々の成果の更なる理論的掘り下げや、さらなる国際連携を期待する。最強チームでの共同研究を強力なリーダーシップで進め、成果の最大化に向けた研究推進に大いに期待したい。